

第7回 農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会（筆記試験）

団体名		番 号		氏 名	
-----	--	-----	--	-----	--

問1、次の文章の（ ）に正しい用語を下から選びなさい。 20点（各2点）

- ①枝は高い位置や（先端）から出たものほど生育が（旺盛）である。
- ②果実の（肥大）や着色を促したり、翌年に向けて充実した花芽を形成するためには、（日光）と養水分が必要である。
- ③りんごの（花芽）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。
- ④花芽が分化する順序は、（短果枝）、中果枝、（長果枝）の順である。
- ⑤一般に弱小芽とは花芽の横径が（3ミリ）以下のものをいう。
- ⑥若木や樹勢の強い樹には（間引き）剪定、樹勢の弱い樹には（切り返し）剪定が基本である。

肥大 切り返し 短い 先端 低温 基部 短幹 養水分 長幹 長い 日光 穏やか
間引き 花芽 時間 3ミリ 5ミリ 1セン 旺盛 高温 種子 短果枝 長果枝

問2、次の説明に合致する語句を下から選びなさい。 15点（各3点）

- ①同一部から、同勢力の枝が3本以上発生している状態。 答え（車枝）
- ②生育旺盛な枝に対し、花芽形成を促すために利用する枝。 答え（けん制枝）
- ③同等の勢力の枝が同一場所か二又に分かれている状態。 答え（共枝）
- ④主軸の伸長方向に対して直角に出た枝。 答え（角枝）
- ⑤栄養生長が盛んで花芽がつきにくい枝。 答え（徒長枝）

上向枝 角枝 発育枝 平行枝 共枝 車枝 フェザー
果台枝 休眠芽 けん制枝 副梢 徒長枝 下垂枝 結果枝

問3、次の説明に合致する人物を下から選びなさい。 12点（各4点）

- ①明治中～後期にかけての病害虫多発期にボルドー液や袋掛けを普及し、また、剪定による樹形改造も行いりんごの神様と呼ばれている。 答え 外崎嘉七
- ②第2次大戦後、荒廃したりんご園の復興に立ち上がり、「青森県りんご協会」を設立し戦後復興の祖と呼ばれている。 答え 渋川伝次郎
- ③ふじの栽培研究や無償で穂木を供与するなど、ふじの普及に尽力した。 答え 斎藤昌美

外崎嘉七 対馬竹五郎 木村甚彌 菊池権衛 渋川伝次郎 田澤賢次 斎藤昌美 山下兼四郎

問4、次の問い合わせに答えよ。 28点（各4点）

①Aさんは丸葉台樹を10ヶ所当たり列間4メートル、樹冠6メートルで改植を行った。

今年、列間の間伐を行ったところ10ヶ所当たりの本数は何本になったか？

間伐を行うと列間は8メートルになるため、

計算式は $10 \times 100 \div (8 \times 6) = 20.8$

答え 20～21本

②Aさんは山手のりんご園10ヶ所当たりに窒素で12%施肥したいと考えた。

1袋当たり20%の有機質肥料（N₁₂P₁₄K₃）では何袋必要か？

$12\% \div (20\% \times 0.12) = 5$

答え 5袋

③Aさんは輪紋病防除を目的に有機銅剤1,200倍（1袋835グラム）を散布した。

1,000リットル当たり殺菌剤を何本使用したか？

$1,200\text{ (倍)} \times 835\text{ (g)} \div 1,000 = 1,002\text{ リットル分の薬液が出来る}$

答え 1袋

④青森県のりんご病害虫防除では特別散布を除き

基準薬剤の散布回数は何回か？

答え 10回

⑤りんごやナシ及びイチゴは何科の植物に分類されるか？

答え バラ科

⑥ふじの掛けあわせを書きなさい。

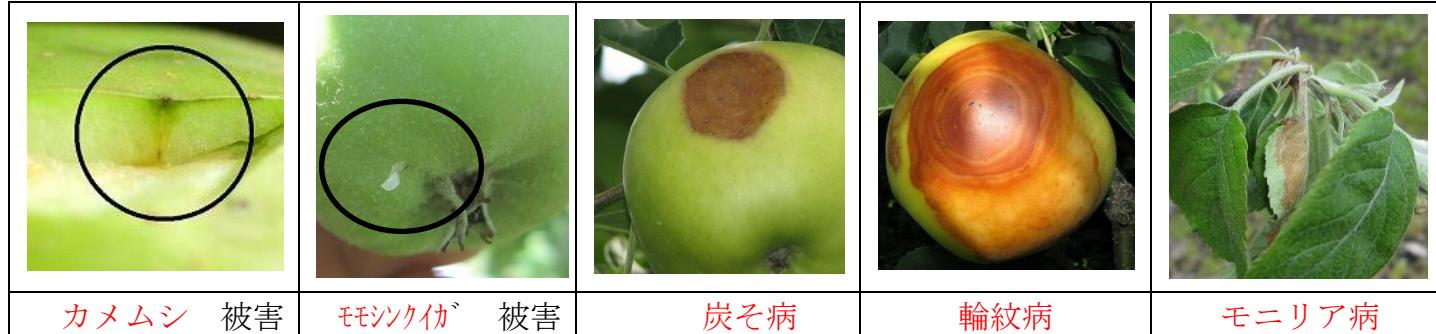
例：トキ 「王林」 × 「ふじ」

答え 「国光」 × 「デリシャス」

⑦りんごを漢字で書きなさい。

答え 林檎

問5、以下の図に適した語句を選べ。 15点（各3点）



炭そ病 腐らん病 褐斑病 カメムシ 輪紋病 黒星病 リンゴコカクモンハマキ
モニリア病 斑点落葉病 えそ斑点病 ビターピット モモシンクイガ アブラムシ

問6、整枝剪定の目的を答えよ。 10点

果実品質の向上、収量の維持または増強、作業性の向上、樹体の維持、以上4つの項目が含まれていれば満点とする。なお1項目ごとに2点の加点とする。